

小学校第1学年 国語科(書写)年間指導計画

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連 ・異年齢交流 ・教科専門性の活用
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
4	しよしゃすたーとぶつく	けかじぶんこぶたうんい／のなまたえんを	1～3	・自分の名前の文字に関心をもち、学習課題に沿って、進んで自分の名前を書こうとすることができる。	1	・進んで自分の名前の文字や校内にある文字に関心をもち、学習課題に沿って自分の名前を書いたり、校内にあるさまざまな文字を探したりしようとしている。			○	観察作品		
		そしよしゃたい	4・5	・しよしゃ体操を行おうとすることができる。	1	・しよしゃ体操の4つの動きを理解し、学習課題に沿って、進んで書写体操を行おうとしている。			○	観察作品		
		せじをかくし	6・7	・文字を書くときの姿勢を正しくすることができる。	1	・文字を書くときの姿勢を正しくしている。	○			観察作品		
		ちえんたびつのも	8・9	・筆記具の持ち方を正しくして書くことができる。	1	・筆記具の持ち方を正しくして書いている。	○			観察作品		
		んいをろかいこうなせ	10・11	・正しい姿勢と筆記具の持ち方で、いろいろな線を書くことができる。	1	・文字を書くときの姿勢と筆記具の持ち方を正しくして書いている。	○			観察作品		
5		「ぼどらめい」と	12・13	・点画の書き方(止め・払い)に注意しながら、丁寧に書くことができる。	2	・点画の書き方(止め・払い)に注意しながら、丁寧に書いている。	○			観察作品		・漢字は、点や画を組み立ててできていること(小2)
		「ほね」と	14	・点画の書き方(はね)に注意しながら、丁寧に書くことができる。	1	・点画の書き方(はね)に注意しながら、丁寧に書いている。	○			観察作品		・漢字は、点や画を組み立ててできていること(小2)
6		かきじゅん	15	・筆順に従って丁寧に書くことができる。	1	・筆順に従って丁寧に書いている。	○			観察作品		
		と「まがれり」と	16・17	・点画の書き方(曲がり・折れ)に注意しながら、丁寧に書くことができる。	2	・点画の書き方(曲がり・折れ)に注意しながら、丁寧に書いている。	○			観察作品		・漢字の点と画には名前があること(小2)
		「むすび」と	18	・点画の書き方(結び)に注意しながら、丁寧に書くことができる。	1	・点画の書き方(結び)に注意しながら、丁寧に書いている。	○			観察作品		
		ちじのかた	19	・文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。	1	・文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。	○			観察作品		

7	ひらがな	ことば	20・21	・点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。	1	・点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。	○			観察作品		
		にすきなもののなあ	22・23	・点画の書き方や、まず目の用紙・罫線の用紙の書き方に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。	1	・点画の書き方や、まず目の用紙・罫線の用紙の書き方に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。	○			観察作品		
		かよたがきのかき	24	・点画の書き方や文字の形、横書きの書き方に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。	1	・点画の書き方や文字の形、横書きの書き方に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。	○			観察作品		
		いこかなことはな	25	・点画の書き方や罫線の用紙の書き方に注意しながら、丁寧に書くことができる。	1	・点画の書き方や罫線の用紙の書き方に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。	○			観察作品		
9		らにがているひ	26	・文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。	1	・文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。	○			観察作品		
		い水てふみでようか	27	・点画の書き方(止め・はね・払い)に注意しながら書くことができる。	1	・点画の書き方(止め・はね・払い)に注意しながら、水書用筆で丁寧に書いている。	○			観察作品		
		あひつらまがれな	42・43	・点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。	1	・点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。	○			観察作品		
10	かたかな	かかたかたかなの	28・29	・点画の書き方(終筆・送筆)に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。	1	・点画の書き方(終筆・送筆)に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。	○			観察作品		
		あかつたまがれなあ	44・45	・点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。	1	・点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。	○			観察作品		
11	かん字	いね「どめ」「ぼ」「ほ	30・31	・点画の書き方(止め・はね・払い)に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。	2	・点画の書き方(止め・はね・払い)に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。	○			観察作品		・漢字は、点や画を組み立ててできていること。(小2)
		そ「おりがれ」「り」「	32	・点画の書き方(折れ・曲がり・反り)に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。	1	・点画の書き方(折れ・曲がり・反り)に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。	○			観察作品		・漢字の点と画には名前があること。(小2)
		かきじゅん	33	・筆順に従って丁寧に書くことができる。	1	・筆順に従って丁寧に書いている。	○			観察作品		・書き順には、いくつかのきまりがあること。(小2)
		かんにな字てといかるたか	34・35	・点画の長さや方向に注意して、文字を正しく書くことができる。	1	・点画の長さや方向に注意して、文字を正しく書いている。	○			観察作品		

1
2

た 字 ち の か	36	・文字の形に注意しながら書くことができる。	1	・文字の形に注意しながら書いている。	○		観察 作品		
べ か た ん い 字 し ら	37	・漢字の成り立ちを知り、丁寧に書くことができる。	1	・「日」「山」「川」の成り立ちを知り、丁寧に書いている。	○		観察 作品		

1 ・ 2 ・ 3	ま と め	かき ぞ め	38 ・ 39	・今までに学習した知識・技能を生かして書き初めを書くことができる。	2	・今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	○			観察 作品		
		ま と 年 め の	40 ・ 41	・今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。	1	・今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	○			観察 作品		
		か 空 こ に う 大 き く	48	・点画の書き方(止め・はね・払い)に注意しながら書くことができる。	1	・点画の書き方(止め・はね・払い)に注意しながら、丁寧に空書きしている。	○			観察 作品		
		ん な 1 字 ら 年 う 生 か で	46 ・ 47	・点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。	1	・点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。	○			観察 作品		

総時間数(34)時間

小学校第2学年 国語科(書写)年間指導計画

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連 ・異年齢交流 ・教科専門性の活用
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
4	いつも気をつけよう	せ字を書きくし	2・3	・文字を書くときの姿勢を正しくすることができる。	1	・文字を書くときの姿勢を正しくしている。	○			観察	・正しい姿勢をすること。(小1)	
		ちえんびつのも	4・5	・筆記具の持ち方を正しくして書くことができる。	1	・筆記具の持ち方を正しくして書いている。	○			観察 作品	・正しい鉛筆の持ち方をすること。(小1)	
		ば書めんの学しゅう	6・7	・積極的に教材内に提示される具体的な学習活動を知り、書写学習の見通しをもって以後の学習活動に取り組もうとすることができる。	1	・積極的に教材内に提示される具体的な学習活動を知り、書写学習の見通しをもって以後の学習活動に取り組もうとしている。			○	観察		
5		ん書きじゆ	8・9	・筆順に従って丁寧に書くことができる。	2	・筆順に従って丁寧に書いている。	○			観察 作品	・書き順に気をつけて書くこと。(小1)	
		点と画の名前	10・11	・漢字が点画の組み合わせでできていることを理解し、点画の書き方に注意しながら書くことができる。	2	・漢字が点画の組み合わせでできていることを理解し、点画の書き方に注意しながら書いている。	○			観察 作品	・「とめ」「はね」「はらい」「まがり」「おれ」「むすび」「そり」に気を付けて書くこと。(小1)	
6		点や画の間	12	・点や画の間に注意して、文字を正しく書くことができる。	1	・点や画の間に注意して、文字を正しく書いている。	○			観察 作品		
		画の長さ	13	・点画の長短に注意して、文字を正しく書くことができる。	1	・点画の長短に注意して、文字を正しく書いている。	○			観察 作品		
		交画のりつ方き方と	14・15	・点画相互の接し方や交わり方に注意して、文字を正しく書くことができる。	2	・点画相互の接し方や交わり方に注意して、文字を正しく書いている。	○			観察 作品		
		ことば	16・17	・今までに学習した知識・技能を生かして丁寧に書くことができる。	1	・今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	○			観察 作品		

7	点や画の組み立て	にげ 書ん くこ う用 き紙	18 ・ 19	・原稿用紙の使い方、 点画の書き方や文字 の形に注意しながら、 筆順に従って丁寧に 書くことができる。	2	・原稿用紙の使い方、 点画の書き方や文字の 形に注意しながら、筆 順に従って丁寧に書い ている。	○		観察 作品	
		きよ 方こ 書き の書	20	・点画の書き方や文字 の形、横書きの書き方 に注意しながら、筆順 に従って丁寧に書くこ とができる。	1	・点画の書き方や文字 の形、横書きの書き方 に注意しながら、筆順 に従って丁寧に書い ている。	○		観察 作品	
		なこ いん かな なこ とは	21	・点画の書き方や文字 の形、連絡帳の書き 方に注意しながら、筆 順に従って丁寧に書く ことができる。	1	・点画の書き方や文字 の形、連絡帳の書き方 に注意しながら、筆順 に従って丁寧に書い ている。	○		観察 作品	
9		ほう 「ほ ころ う」 の	22 ・ 23	・点画(払い)の方向に 注意して、文字を正し く書くことができる。	2	・点画(払い)の方向に 注意して、文字を正し く書いている。	○		観察 作品	
		ほう 「お れう 」の	24	・点画(折れ)の方向に 注意して、文字を正し く書くことができる。	2	・画(折れ)の方向に注 意して、文字を正しく 書いている。	○		観察 作品	・おれると ころで一度筆 を止めるこ と(小3)
10		う 「ぞ うり 」の ほ	25	・点画(反り)の方向に 注意して、文字を正し く書くことができる。	1	・点画(反り)の方向に 注意して、文字を正し く書いている。	○		観察 作品	
		う 「点 う」 の ほ	26	・点画(点)の方向に 注意して、文字を正し く書くことができる。	1	・点画(点)の方向に注 意して、文字を正しく 書いている。	○		観察 作品	
11	字の形	い水 てふ みで よう 書	27	・点画の書き方(止め・ はね・払い)に注意し ながら書くことができ る。	1	・点画の書き方(止め・ はね・払い)に注意し ながら、水書用筆で丁 寧に書いている。	○		観察 作品	
		字 の 形	28	・字の形(外形)に注 意しながら、丁寧に書 くことができる。	2	・字の形(外形)に注 意しながら、丁寧に書 いている。	○		観察 作品	・字の形に気 を付けて書く こと。(小1)
12		字 の 中 心	29	・文字の形(中心)に 注意しながら、丁寧に 書くことができる。	1	・文字の形(中心)に注 意しながら、丁寧に書 いている。	○		観察 作品	
1・2・3	まとめ	書き ぞめ	30 ・ 31	・習得した知識・技能 を振り返り、今までの 学習を生かして、積極 的に書き初めを書こう とすることができる。	5	・習得した知識・技能を 振り返り、今までの学 習を生かして、積極的 に書き初めを書こうと している。	○		観察 作品	
				・今までに学習した知 識・技能を生かして書 くことができる。		・今までに学習した知 識・技能を生かして書 いている。	○		観察 作品	
		と二 め生 のま	32 ・ 33	・今までに学習した知 識・技能を生かして書 くことができる。	2	・今までに学習した知 識・技能を生かして書 いている。	○		観察 作品	
		一年 間の 学び	34	・今までに学習した知 識・技能を生かして書 くことができる。		・今までに学習した知 識・技能を生かして書 いている。	○		観察 作品	

		を ふり かえ ろ う	・ 35	・進んで習得した知識・ 技能を振り返り、 今までの学習を生かして「一年間の思い出」 を書こうとすることが できる。	2	・進んで習得した知識・ 技能を振り返り、今までの 学習を生かして「一年 間の思い出」を書こうと している。			○	観 察 作 品		
総時間数(35)時間												

小学校第3学年 国語科(書写)年間指導計画

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連 ・異年齢交流 ・教科専門性の活用
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
4	毛筆スタートブック	み毛つ筆のひ	2・3	・進んで毛筆の特徴を理解し、学習の見通しをもって毛筆で学習する意義を話し合おうとすることができる。	2	・進んで毛筆の特徴を理解し、学習の見通しをもって毛筆で学習する意義を話し合おうとしている。	○			観察		
		ん用び具のじゅ	4・5	・毛筆用具の準備の仕方を理解することができる。		・毛筆用具の準備の仕方を理解している。	○			観察		
		し書せくときの	6・7	・毛筆で書くときの姿勢や筆の持ち方を理解して、姿勢や持ち方を正しくすることができる。		・毛筆で書くときの姿勢や筆の持ち方を正しくしている。	○			観察	・正しい姿勢をすること。(小2)	・正しい姿勢をすること。(小4)
		たくえづ用らんけ具べひのよつかうと	8・9	・筆の持ち方や腕の動かし方、毛筆用具の片づけ方を理解することができる。		・筆の持ち方や腕の動かし方、毛筆用具の片づけ方を理解している。	○			観察	・正しい鉛筆の持ち方をすること。(小2)	・正しい筆の持ち方をすること。(小4)
		方学習の進め	10・11	・学習の進め方を理解することができる。		・学習の進め方やタブレット端末を使う姿勢・活用のしかたを理解している。	○			観察		
		書たとほきむじ先きくの向空かき	12・13	・毛筆で書くときの穂先の向きや軸の傾き、空書きのしかたを理解することができる。		・毛筆で書くときの穂先の向きや軸の傾き、空書きのしかたを理解している。	○			観察		
5	点画のい	し点画のい	14・15	・点画の種類を理解することができる。	2	・点画の種類を理解している。	○			観察	・「とめ」「はね」「はらい」「まがり」「おれ」「むすび」「そり」に気を付けて書くこと。(小2)	・点画の種類を確かめ、点画の書き方や筆圧などに注意して書くこと。(小4)
		横画	16・17	・毛筆を使用して、横画の書き方への理解を深めて書くことができる。	2	・毛筆を使用して、横画の書き方への理解を深めて書いている。	○			観察作品		
		たて画	18・19	・毛筆を使用して、縦画の書き方への理解を深めて書くことができる。	2	・毛筆を使用して、縦画の書き方への理解を深めて書いている。	○			観察作品		
6	おれ	たて画	20・21	・毛筆を使用して、折れの書き方への理解を深めて書くことができる。	2	・毛筆を使用して、折れの書き方への理解を深めて書いている。	○			観察作品		
		み書小よい筆うてで	22・23	・小筆の使い方を理解して、正しい持ち方で書くことができる。	1	・小筆の使い方を理解して、正しい持ち方で書こうとしている。	○			観察作品		
7	漢字の筆使い	書き紙の方	24・25	・手紙の書き方を理解し、今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。	硬2	・手紙の書き方を理解し、今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	○			観察作品		
		方の横書き	26・27	・横書きの書き方に注意して書くことができる。	適宜	・横書きの書き方に注意して書いている。	○			観察作品		

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連 ・異年齢交流 ・教科専門性の活用
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
9		方力の入れ	28	・毛筆を使用して、筆圧に注意して書くことができる。	1	・毛筆を使用して、筆圧に注意して書いている。	○			観察作品	・「とめ」「はね」「はらい」「まがり」「おれ」「むすび」「そり」に気を付けて書くこと。(小2)	・点画の種類を確かめ、点画の書き方や筆圧などに注意して書くこと。(小4)
		右左ははらい	29～31	・毛筆を使用して、左払い・右払いの書き方への理解を深め、筆圧などに注意して書くことができる。	3	・毛筆を使用して、左払い・右払いの書き方への理解を深め、筆圧などに注意して書いている。	○			観察作品		
		点・はね	32・33	・毛筆を使用して、点・はねの書き方への理解を深め、筆圧などに注意して書くことができる。	2	毛筆を使用して、点・はねの書き方への理解を深め、筆圧などに注意して書いている。	○			観察作品		
10		曲がり	34・35	・毛筆を使用して、曲がりの書き方への理解を深め、筆圧などに注意して書くことができる。	2	・毛筆を使用して、曲がりの書き方への理解を深め、筆圧などに注意して書いている。	○			観察作品		
		ことば	36・37	・今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。	硬1	・今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	○					
11	平がな の筆 使い	方小筆の 使い	38・39	・毛筆を使用して、平仮名の筆使い(丸み)への理解を深め、筆圧などに注意して書くことができる。	2	・毛筆を使用して、平仮名の筆使い(丸み)への理解を深め、筆圧などに注意して書いている。	○			観察作品		
		漢字 の組み 立て	40・41	・左右の部分でできている漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。	硬1	・左右の部分でできている漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書いている。	○			観察作品	・字の形(外形・中心)に注意しながら、丁寧に書くこと。(小2)	・筆順と字形の関係を理解して、形を整えて書くこと。(小4)
12	文字 の配 列	行の 中心	42	・配列(行の中心)に注意して読みやすく書くことができる。	硬1	・配列(行の中心)に注意して読みやすく書いている。	○			観察作品	・字の形(外形・中心)に注意しながら、丁寧に書くこと。(小2)	・漢字や仮名の大きさ、配列(行の中心と字間)に注意して書くこと。(小4)
		るで かき な て い	43	・筆記具の持ち方を正しくして書くことができる。	適宜	筆記具の持ち方を正しくして書いている。	○			観察作品		
1・2・3	ま と め	書き ぞ め	44～47 61～64	・今までに学習した知識・技能を生かして書き初めを書くことができる。	5	・今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	○			観察作品		
		め の 三 年 と 生	48・51	・今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。	3	・今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	○			観察作品		
		た も い つ と 知 り	52・53	・全国で作られている筆・紙・墨・硯を知り、毛筆用具や書写学習への関心を高めることができる。	1	・全国で作られる毛筆用具や、その作り方を理解している。	○			観察作品		

総時間数(35)時間

小学校第4学年 国語科(書写)年間指導計画

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連 ・異年齢交流 ・教科専門性の活用
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
4	いつも気をつけよう	学習の進め方	巻頭	・学習の進め方を理解することができる。	1	・学習の進め方を理解している。	○			観察		
		用具のかたづけ／用	2	・毛筆用具の準備の仕方と片付け方を理解することができる。		・毛筆用具の準備の仕方・片付け方を理解している。	○			観察		
		し書くときの	3	・書くときの姿勢を正しくすることができる。		・書くときの姿勢を正しくしている。	○			観察	・正しい姿勢をすること。(小3)	・正しい姿勢をすること。(小5)
		よト／筆の活用の仕方	4・5	・筆の持ち方を正しくし、タブレット端末を活用することができる。		・筆の持ち方やタブレット端末を使う姿勢・活用のしかたを理解している。	○			観察		
		点画の種類	6・7	・点画の種類を確かめ、点画の書き方や筆圧などに注意して書くことができる。		・点画の種類を確かめ、点画の書き方や筆圧などに注意して書いている。	○			観察 作品	・点画の種類を理解すること。(小3)	
5	漢字の組み立て	て部分(左組み)立	8・9	・左右の部分でできている漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。	3	・左右の部分でできている漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書いている。	○			観察 作品	・左右の部分でできている漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書くこと。(小3)	・漢字の部分の組み立て方への理解を深めて書くこと。(小5)
		下立部分(右組み)上	10・11	・上下の部分でできている漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。	3	・上下の部分でできている漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書いている。	○			観察 作品		
6	字の形	形筆順と字	12・13	・筆順と字形の関係を理解して、形を整えて書くことができる。	4	・筆順と字形の関係を理解して、形を整えて書いている。	○			観察 作品	・毛筆を使用して、はらい・はね・点・曲がりの書き方への理解を深め、筆圧などに注意して書くこと。(小3)	・点画のつながりと字形の関係を理解し、穂先の動きと点画のつながりを意識して書くこと。(小5)
7		向画の方	14・15	・画(左払い)の方向を理解し、形を整えて書くことができる。	2	・画(左払い)の方向を理解し、形を整えて書いている。	○			観察 作品		
9	平がな(折)の筆	れ平がな(折)	16・17	・毛筆を使用して、平仮名の筆使い(折れ)への理解を深め、筆圧などに注意して書くことができる。	3	・毛筆を使用して、平仮名の筆使い(折れ)への理解を深め、筆圧などに注意して書いている。	○			観察 作品		

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連 ・異年齢交流 ・教科専門性の活用	
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
10	文字の配列	ろノート達人にな	18～19	・漢字や仮名の大きさ、配列(行の中心と字間)に注意して書くことができる。	硬2	・漢字や仮名の大きさ、配列(行の中心と字間)に注意して書いている。	○			観察作品	・配列(行の中心)に注意して読みやすく書くこと。(小3)	・漢字や仮名の大きさに注意して書くこと。(小5) ・用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めて書くこと。(小5)	
		き横書きの書	20	・漢字や仮名の大きさ、配列(横書き)に注意して書くことができる。	1	・漢字や仮名の大きさ、配列(横書き)に注意して書いている。	○			観察作品			
		ブよみツうんクSなDでG考え	21～24	・今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。	1	・今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	○				観察作品		
		ことば	25	・今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。	硬1	・今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	○				観察作品		
11		大漢字さどうしの	26・27	・漢字どうしの大きさに注意して書くことができる。	3	・漢字どうしの大きさに注意して書いている。	○			観察作品			
12		きリフレッットの書	28・29	・漢字や仮名の大きさ、配列(行の中心と字間)に注意して書くことができる。	硬2	・漢字や仮名の大きさ、配列(行の中心と字間)に注意して書いている。	○			観察作品			
		うを町伝のえ安よ全	30・31	・今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。	適宜	・今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	○				観察作品		
1・2・3	まとめ	書きぞめ	32～35 49～52	・今までに学習した知識・技能を生かして書き初めを書くことができる。	5	・今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	○			観察作品			
		と四年生のま	36～39	・今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。	3	・今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	○			観察作品			
総時間数(35)時間													

小学校第5学年 国語科(書写)年間指導計画

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学年との関連 ・異年齢交流 ・教科専門性の活用
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
4	いつも気をつけよう	め学 方習 の進	巻頭	・学習の進め方を理解することができる。	適宜	・学習の進め方を理解している。	○			観察		
		具用 具の かた 準備 づけ 用	2	・毛筆用具の準備の仕方と片付け方を理解することができる。	適宜	・毛筆用具の準備の仕方・片付け方を理解している。	○			観察		
		し書 せく とき の	3	・書くときの姿勢を正しくすることができる。	適宜	・書くときの姿勢を正しくしている。	○			観察		
		よト 筆の うを タの 活ブ 用レ しッ 方	4・5	筆の持ち方を正しくし、タブレット端末を活用することができる。	適宜	筆の持ち方やタブレット端末を使う姿勢・活用のしかたを理解している。	○			観察		
5	漢字の組み立て	方部 ①分 (への 組み よう 立て)	6・7	・「によう」をもつ漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。	4	・「によう」をもつ漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書いている。	○			作品観察	・左右の部分でできている漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書くこと(小4)	・三つの部分でできている漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書くこと(小6)
		て部 分 ②の 組み 立	8	・漢字の部分の組み立て方への理解を深めて書くことができる。	硬1	・漢字の部分の組み立て方への理解を深めて書いている。	○			作品観察		
		ろ漢 字の 書き いろ ろい	9	・速く書く場面で使ってもよい書き方を理解することができる。	適宜	・速く書く場面で使ってもよい書き方を理解している。	○			作品観察		
6	書くときの速さ	さ書 く とき の速	10	・場面と書く速さの関係を理解し、書く速さを意識して書くことができる。	硬1	・場面と書く速さの関係を理解し、書く速さを意識して書いている。	○			作品観察		
		メイ モ ン タ の 書 き 方	11	・速く正確に書き留めるための方法を理解し、書く速さを意識して書くことができる。		・速く正確に書き留めるための方法を理解し、書く速さを意識して書いている。	○			作品観察		
		と手 活 手 書 字 書 き の 文 力 字	12・13	・手書きや手書き文字のよさについて理解することができる。		・手書きや手書き文字のよさについて理解している。	○			作品観察		

7	字の形	字形画のつながり	14・15	・点画のつながりと字形の関係を理解し、穂先の動きと点画のつながりを意識して書くことができる。	4	・点画のつながりと字形の関係を理解し、穂先の動きと点画のつながりを意識して書いている。	○		作品観察	・画(左払い)の方向を理解し、形を整えて書くこと ・筆順と字形の関係を理解して、形を整えて書くこと(小4)	・点画のつながりと読みやすさの関係を理解し、穂先の動きと点画のつながりを意識して書くこと ・筆順と点画のつながりを意識して、字形を整えて書くこと(小6)	
9		筆順と字形	16・17	・筆順と字形の関係を理解し、穂先の動きと点画のつながりを意識して書くことができる。	4	・筆順と字形の関係を理解し、穂先の動きと点画のつながりを意識して書いている。	○		作品観察			
10		ことば	18・19	・今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。	硬1	・今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	○			作品観察		
	11	と文仮名の大きさ(漢字)	20・21	・漢字や仮名の大きさに注意して書くことができる。	4	・漢字や仮名の大きさに注意して書いている。	○			作品観察	・漢字や仮名の大きさ、配列(行の中心と字間)に注意して書くこと ・漢字や仮名の大きさ、配列(横書き)に注意して書くこと(小4)	・用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めて書くこと ・用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めて書くこと(小6)
12		の用紙に合った文字	22・23	・用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めて書くことができる。	4	・用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めて書いている。	○			作品観察		
12	記者ざせ！新聞	24・25	・漢字や仮名の大きさ、配列に注意するとともに、目的に応じて使用する筆記具を選び、その特徴を生かして書くことができる。	硬1	・漢字や仮名の大きさ、配列に注意するとともに、目的に応じて使用する筆記具を選び、その特徴を生かして書いている。	○			作品観察			
153	まとめ	書きぞめ	26～29 45～48	・今までに学習した知識・技能を生かして書き初めを書くことができる。	6	・今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	○			作品観察		
		②五年生のまとめ①	30・33	・今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。	3	・今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	○			作品観察		
		け六年生を送る会に向	34	・今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。	1	・今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	○			作品観察		
				・今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。	硬1	・今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	○			作品観察		

	よ 英 う 語 で 書 い て み	35	・アルファベットの大き さや配列に注意して書 くことができる。	適 宜	・アルファベットの大き さや配列に注意して書い ている。	○		作品 観察		
総時間数(35)時間										

小学校第6学年 国語科(書写)年間指導計画

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学年との関連 ・異年齢交流 ・教科専門性の活用
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
4・5	いつも気をつけよう	め学 方習 の進	巻頭	・学習の進め方を理解することができる。	適宜	・学習の進め方を理解している。	○			観察		
		けの備用 か／具 た用の づ具準	2	・毛筆用具の準備の仕方と片付け方を理解することができる。	適宜	・毛筆用具の準備の仕方・片付け方を理解している。	○			観察		
		姿書 勢く ときの	3	・書くときの姿勢を正しくすることができる。	適宜	・書くときの姿勢を正しくしている。	○			観察		
		し筆 よれの うツ持 ちを方 活／用 タ	4・5	筆の持ち方を正しくし、タブレット端末を活用することができる。	適宜	筆の持ち方やタブレット端末を使う姿勢・活用のしかたを理解している。	○			観察		
6	漢字の組み立て	分方部 ～①分 の組 み立 て部	6～8	・三つの部分でできている漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。	5	・三つの部分でできている漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書いている。	○			作品観察	・「によう」をもつ漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書くこと(小5)	・楷書に調和する仮名の筆使いや字形のポイントを理解して、小筆で「いろは歌」を書くこと(中1)
		て細部 方み分 ②立の	9	・漢字の部分の組み立て方への理解を深めて書くことができる。	硬1	・漢字の部分の組み立て方への理解を深めて書いている。	○			作品観察		
7	点画のつながり	さり点 と画 読の みつ やな すが	10・11	・点画のつながりと読みやすさの関係を理解し、穂先の動きと点画のつながりを意識して書くことができる。	4	・点画のつながりと読みやすさの関係を理解し、穂先の動きと点画のつながりを意識して書いている。	○			作品観察	・点画のつながりと字形の関係を理解し、穂先の動きと点画のつながりを意識して書くこと ・筆順と字形の関係を理解し、穂先の動きと点画のつながりを意識して書くこと(小5)	
		つ筆 な順 がと り点 画の	12・13	・筆順と点画のつながりを意識して、字形を整えて書くことができる。	4	・筆順と点画のつながりを意識して、字形を整えて書いている。	○			作品観察		
10		さ用 と紙 配に 列合 った 文字 の 大 き	14・15	・用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めて書くことができる。	4	・用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めて書いている。	○			作品観察	・漢字や仮名の大きさに注意して書くこと ・漢字や仮名の大きさ、配列に注意するとともに、目的に応じて使用する筆記具を選び、その特徴を生かして書くこと(小5)	・文や文章を読みやすく書くための、文字の大きさや配列のポイントを確認すること ・文字の大きさと配列を意識して、小筆で「夏の夜や…」を書くこと(中1)
				・用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めて書くことができる。	硬1	・用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めて書いている。	○			作品観察		

1 1	文字の配列	う伝えうることで、ど	16・17	・伝える情報の優先度や用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めて書くことの大切さを理解することができる。	適宜	・伝える情報の優先度や用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めて書くことの大切さを理解している。	○		作品観察		
		ことば	18・19	・今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。	硬1	・今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	○		作品観察		
1 2	文字の配列	記いみ具やん図すなかいがん筆使	20	・ユニバーサルデザインの筆記具について知り、筆記具への関心を高めることができる。	適宜	・ユニバーサルデザインの筆記具について理解している。	○		観察		
		の「歴史もつと知りたいたい」文字	29～31	・文字の歴史を大まかに理解し、書写学習への関心を高めることができる。	1	・漢字の誕生と伝来、仮名の誕生などの文字の歴史について、大まかに理解している。	○		作品観察		
		トパンの書き方ツ	32・33	・情報を効果的に伝えるために、文字の大きさや配列を工夫して、パンフレットを書くことができる。	硬1	・文字の大きさや配列、筆記具を工夫して効果的に書いている。	○		作品観察		
適宜		書写ブック	21～28	・これまでに書写で学習したことへの理解を深めて書くことができる。	適宜	・これまでに書写で学習したことへの理解を深めて書いている。	○		作品観察		
1 5 3	まとめ	書きぞめ	34～37 53～56	・今までに学習した知識・技能を生かして書き初めを書くことができる。	6	・今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	○		作品観察		
		う通信文を見てみよう	38	・伝える情報の優先度や用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めて書くことの大切さを理解することができる。	適宜	・伝える情報の優先度や用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めて書くことの大切さを理解している。	○		作品観察		
		と六年生①②のまとめ	39～41	・今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。	4	・今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	○		作品観察		
		残今その思いを書き	42・43	・今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。	2	・今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	○		作品観察		
		ふ私私りの返文を	44・46	・今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。	適宜	・今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	○		作品観察		

総時間数(35)時間